

スタチン治療を始めるにあたって

あなたの心臓の健康を守るパートナー



未来の健康のために

- 「筋肉が痛くなるって聞いたけど…」
- 「肝臓に悪いんじゃないの？」
- 「一度飲み始めたらやめられない？」



お薬に対して、
こんな不安は
ありませんか？

不安に思うのは、
とても自然なことです。

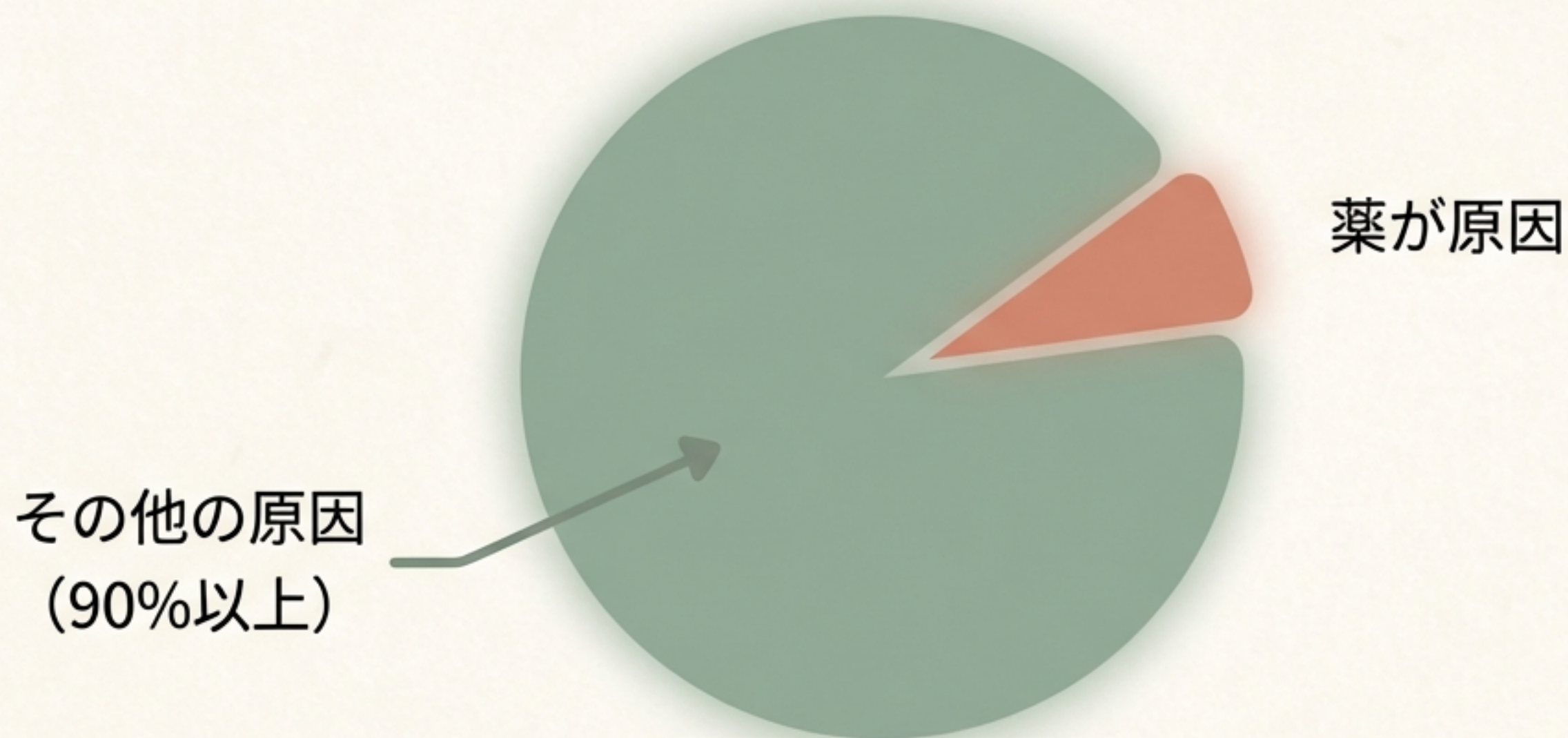
科学的なデータで見る「筋肉痛」の真実



世界的に権威ある医学誌『ランセット』(2022年)の研究結果から

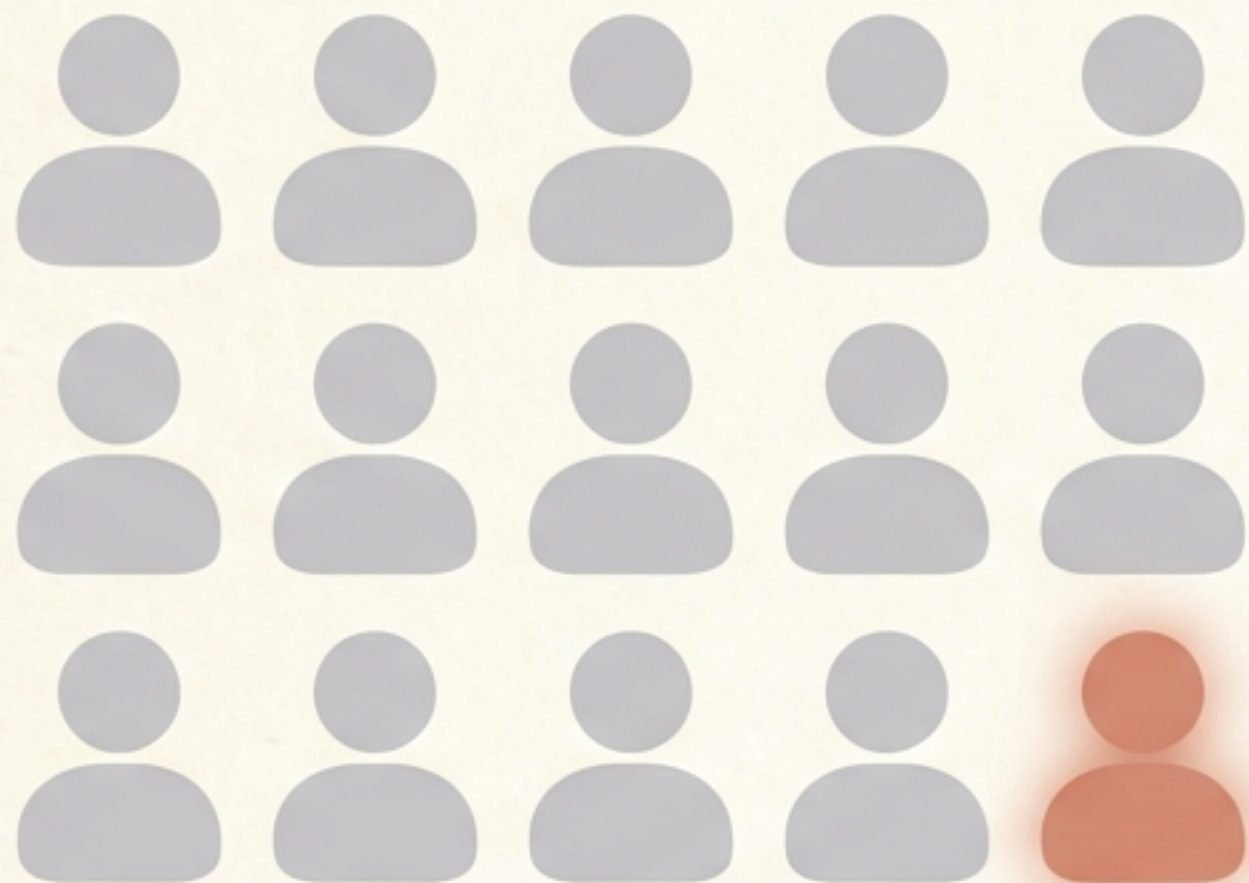
多くの患者さんが心配される「筋肉の痛み」。
実際のところ、薬が原因である確率はどれくらいなのでしょう？

90%以上の症状は、薬とは無関係でした



スタチンを服用中に筋肉の痛みを感じた人のうち、90%以上は、薬以外の原因（加齢や運動など）によるものでした。

もし痛みを感じても、その確率は「15人に1人」



筋肉の痛みや違和感を訴えた
15人のうち、実際に薬が原因
だったのはたった1人でした。
残りの14人は、薬のせいでは
ありませんでした。

ほとんどの場合、心配しすぎる必要はありません。

「ノセボ効果」をご存知ですか？



「薬のせいで具合が悪くなるかも」と強く思い込むことで、実際に痛みを感じてしまうことがあります。これを心理学で「ノセボ効果」と呼びます。

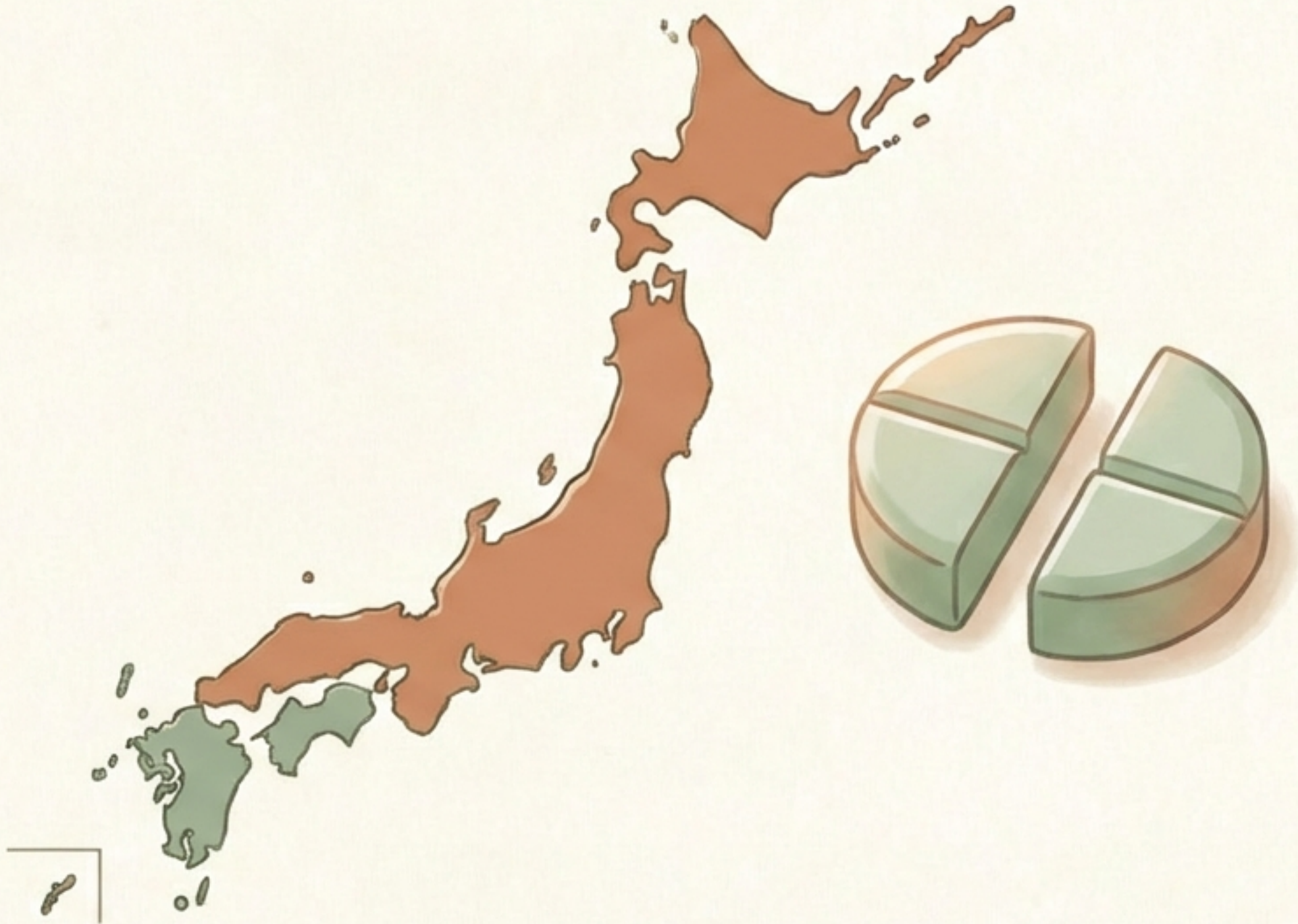
薬をやめるリスクの方が、はるかに大きい



わずかな副作用を恐れて薬をやめてしまうと、心筋梗塞や脳卒中といった、命に関わる病気のリスクが高まってしまいます。

守るのは、あなたの「命」と「未来」です。

日本人に合わせた、やさしい処方



日本人は欧米人に比べ、少ない量でも十分な効果が得られることが分かっています。

あなたの体質に合わせた、負担の少ない量から始めていきます。

肝臓や認知症への影響は？



重篤な肝機能障害は極めて稀です。数値が上がっても、一時的なものがほとんどです。



「認知症になる」という噂は間違いです。むしろ脳卒中を防ぐことで、脳の働きを守ります。

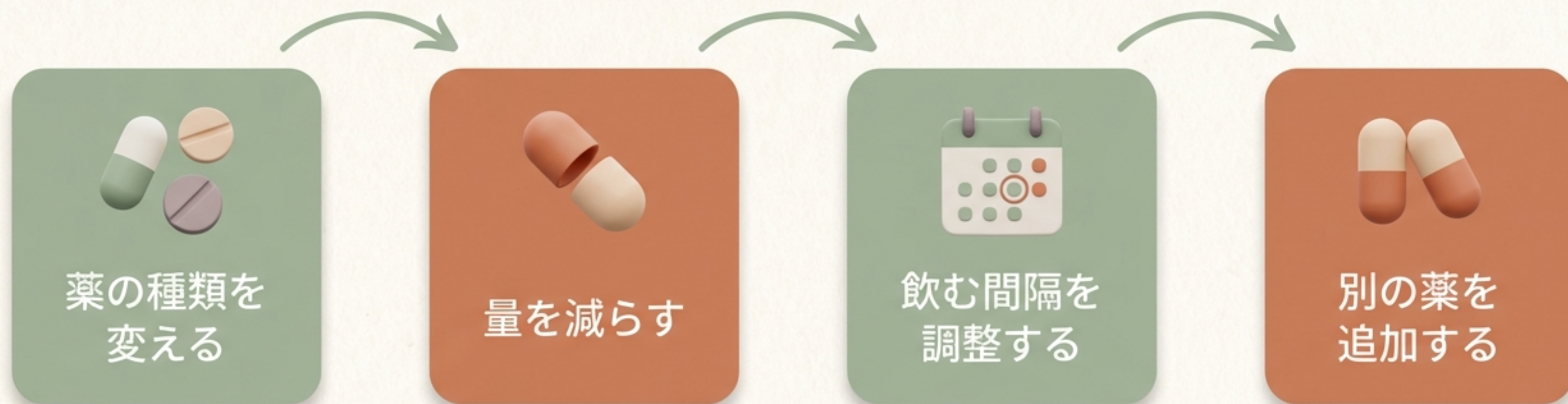
私たちがしっかり「見守り」ます



飲み始め（約4週間後）に血液検査を行い、体に変化がないか確認します。
数値に異常があれば、すぐに対応します。

あなた一人ではありません。

もし痛みが出ても、たくさんの選択肢があります



我慢せず、すぐに相談してください。
一緒に最適な方法を見つけましょう。

「思い込み」で治療を諦めないで



「スタチン不耐性（薬が体に合わない）」
とされている症状の多くは、
実は薬が原因ではありません。

恐怖心のために、将来の健康を守る
チャンスを逃さないでください。

今日のまとめ：安心のポイント

- ✓ 筋肉痛の90%以上は薬と無関係です。
- ✓ 日本人に合ったやさしい量から始めます。
- ✓ 万が一の時も、薬の変更など対処法があります。
- ✓ 定期的な検査で、私たちが守ります。

さあ、健康な心臓への旅を始めましょう



不安なことがあれば、いつでも私たちに話してください。
あなたの健康長寿を、全力でサポートします。

治療開始